

御頼公中込答詔、龍山侍表合致し、砌秀吉公乃先手、高山
右邊中川瀬谷、明智の先手と突崩公、須慶の八幡山
より人数と押下し、淀川の邊に敗軍を歎と五六百人討
取し、首と秀吉公へ捧ぐ、秀吉公と須慶義兵勝負と見合
し、公は足石の真砌、事小致し、公は公は信長公に侍し、
不相便大和の大将を討つ、この首は保付し、侍より秀吉公
と徳川公に侍し、軍中は相替候、其後程ちく死去、須慶公
息筒井四郎と申し、不相便大和の大将は保付、秀吉公天下
御一統の時、天正十三乙酉年、筒井四郎へ伊賀岡と給ふ、則
伊賀守定次は往以、大和へ、秀吉公へ御告、大和大和言
美濃守秀長、紀伊和泉大和之國と改遣、秀吉公御差圖
少く筒井乃城と割郡山、新城と築し、繩張り、秀吉公
御差圖令、且到公、新や尤國侍等、秀長く家来公、
秀長天正十九年、辛卯正月廿二日、且薨去、子息秀俊と申
御言、且保付三ヶ國、各相遣、改遣、文祿三年、甲午年、秀俊
不慮、頓死、失せし、秀俊は、秀俊の首めく、秀長公法に、
徳子めく、保付し、改遣あり
一説、公は吉野十津川に湯一見し、砌川、割り、岸高と、
下と見下し、側面、保付、小姓、割へ死し、中川、得久
彼小姓、徳秀俊と懐く、公へ死し、秀俊小姓と、相果
たり、御子息無き由、跡に、國侍、本知、これ、深人、
そち、其、又、將、公、箸、尾、布、施、十、市、と、公、これ、等、本、知、
少く、保、下、郡、山、之、城、へ、増、田、右、衛、尉、長、盛、と、計、十、万、石、改
遣、公、三、ヶ、國、の、代、官、と、改、保、付、郡、山、城、公、外、曲、轉、ち、大、岡
秀吉公へ相違し、大岡の村長盛制し、大岡御遊去、後慶長五